

第1回「エコシティたかつ」推進会議 摘録（案）

日 時：2009年7月10日（金） 16:00～18:45

場 所：高津区役所 第1会議室

出席者：岸委員長／横山滋副委員長／水谷委員／住田委員／横山登委員

伊中委員／川辺委員／長村委員／若杉委員／三島委員／井坂委員

小林委員／秋元委員／鈴木委員／坂本委員

江田雅子氏（高津区「たちばなブランド」創出推進事業協働実施団体）

五十嵐／新井勇／星／中村／亀山／加藤（事務局） 梶谷（コンサルタント）

1. 開会

資料確認を行った。

2. 委嘱状の交付

新委員の小林委員（川崎市立小学校長会高津支部）、坂本委員（高津区役所）、福芝委員（欠席：川崎市環境局地球環境推進室）には、個別に委嘱状を交付することで省略した。

3. 区長挨拶／委員長挨拶

山崎高津区長、岸委員長より挨拶いただいた。

<山崎高津区長>

2008年度の本次会议の活発な議論によって「エコシティたかつ」推進方針を3月に策定できた。川崎市としてCCかわさきを中心に地球温暖化防止の取組を進めているが、高津区も12のプロジェクトを中心に地域からの取組を進めていきたい、引き続きご尽力をいただきたい。

<岸委員長>

3月の推進会議から久しぶりの会議だが、行政はきちんと動いており、勢いよく推進されている。「エコシティたかつ」は先手で動いており理解されにくいところもあるが、局地的豪雨やCOP10（2010年日本で開催予定）、土砂災害など適応策は重要視されており、委員の皆さんが関心のあるプロジェクトへ関わってもらい、推進を盛り上げていきたい。

4. 委員紹介

各委員より、「エコシティたかつ」への思いや現在関わっている活動などを踏まえ、簡単な自己紹介を行った。

5. 2008年度の振り返り

事務局より、2008年度推進会議の検討経過について説明を行った（資料2：「エコシティたかつ」推進方針39ページ参照）。また、「エコシティたかつ」推進方針について、基本理念、基本目標、基本的な考え方、推進体制等について確認した（資料3：概要版参照）。その後、岸委員長より補足として、行政区画で考えるのではなく、行政区画がのっかっている「大地のでこぼこ」（流域、ランドスケープ）の上で何がおこっているかを把握し、担当区域の行政がどう対応していくか、という展開になっていく。それは100年後までもつことは確かで、中身をどのように入れていくかはこれから次第である、との説明があった。

6. 2009年度 推進会議の役割について

事務局より、資料4に沿って2009年度の推進会議の役割について説明を行った。その後、岸委員長より補足として、重点事項にある①潜在的な担い手発掘の強化で、推進会議は潜在的な存在として期待されている、との説明があった。

7. プロジェクトの進め方について

事務局より、資料5に沿って12のプロジェクトや中期的なプロジェクトの進捗状況や具体的な内容、展開方法について説明を行った。以下、主な内容を記す。

<12のプロジェクトの主な内容>

地図による地域環境資源の共有化の促進：市民参加型ヒートアイランド調査を実施（首都大学東京饗庭准教授ゼミ等と連携）。7/1から調査員の募集開始。地図データとして、バイオGIS等の利用を考えたい。

エコシティホール化の推進：太陽光パネルの設置に向け調整中。2008年度に整備した在来種の壁面緑化やビオトープ、屋上緑化のツアーガイド体制を整えたい。

緑のカーテン事業の展開：今年は企業（7社）に協賛・協力を得て、コンテストを開催。7/1から募集開始。11/7に緑のカーテン先進地である板橋区のNPO法人緑のカーテン応援団の協力を得てシンポジウムを開催予定。

エコ・エネライフコンクールの実施：企業（7社）に協賛・協力を得て、高津区区民会議と協働でコンクールを開催。7/1から募集開始。緑のカーテンコンテストと併せて、審査委員（2名ほど）を「エコシティたかつ」推進会議の委員お願いしたい。

学校流域プロジェクト：西梶ヶ谷小学校を皮切りに、良いスタートができた。市立の小学校15校へアンケート調査を行う。西梶ヶ谷小、久地小で学習支援を行うとともに、久本小、末長小（その後梶ヶ谷小に変更）で整備を予定。マニュアルづくりを2010年度に行いたい（緊急雇用対策で厚生労働省の事業費を確保できたので、そこで作成することとなった）。

（協働での事業実施団体—NPO法人鶴見川流域ネットワーク）

橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進：農家へのヒアリングや、ウォークイベント、野菜販売を実施。（協働での事業実施団体—NPO法人ぐらす・かわさき）

「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進：地域緑化と溝口緑地の整備。

雨水利用の促進：シップスレインワールド（株）の協賛を得て、雨水タンクのモニターを3名公募。8/1から募集開始。将来的な施策を考えながら進めたい。

再生可能エネルギーの利用促進：エコシティホール化と併せて進める。

「まちなか油田プロジェクト」の推進に向けた調査・研究：2008年度より、かわさきかえるプロジェクトと協働で進めている。

エコ企業調査プロジェクト：推進会議委員のミットヨはじめ、緑のカーテンコンテストやエコ・エネライフコンクールの協賛企業等の環境的な取り組みを紹介。

体制づくり：推進会議どのような役割を担っていくか検討してほしい。

<中期的なプロジェクトの主な内容>

仮称「たかつ地域水循環計画」の検討：市の新たな水循環計画検討委員会がスタート。動きが加速中。

複合型氾濫マップの協働作成：建設局と連携して進めたい。

仮称「たかつ自然の賑わいづくり計画」の検討：2012年度中までに市として地域戦略をつくる方向になった。

多摩川崖線の緑の保全・回復・育成を目指した市民協働の取組：高津区まちづくり協議会と連携して地域から進めたい。地域緑化制度に動きも見られる。

水の道調査に基づく復元水系図の作成：建設局河川課（NPO 法人多摩川エコミュージアムに委託）が行う二ヶ領用水400年記念事業と連携。

環境マネジメントの実践的な取組：2008年度から高津区役所独自で予算要求の際、環境視点を取り入れているが、2009年度はガイドラインに着手したい。

小さな循環・生ごみリサイクルシステムの構築：橋の事業と接点を探したい。

「緑の回廊」づくりの推進：かすみ堤の保全・活用に向けて、庁内検討会議がスタート。国と調整していきたい。

<その他>

・長期的なプロジェクト、及びこれからの検討課題で掲げている、生命地域の視点によるまちづくりの検討や都市の農的空間を活かしたまちづくりの推進に向け、中期につながるものがないので、つなぎのプロジェクトを考えていきたい。

・環境負荷の小さな地域交通政策の検討において、井坂委員が代表を務める持続可能な地域交通を考える会を中心に、蟹ヶ谷地区でのコミュニティバス運行について検討している。

事務局の説明後、各プロジェクトの内容や推進体制について意見交換を行った。

橋地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

・中期的なプロジェクトで、都市農業をどう支えていくかについて検討するものをつくっ

てはどうか。

・都市農地は環境貢献地であるという位置づけで、農業だけではなく都市部との交流などを通して地域を耕していこう、というまちづくりの発想でプロポーザルが採択された。高津区「たちばなブランド」創出推進事業は、ふるさと雇用再生特別交付金事業のため、新規スタッフ2人を雇用し、3年後に自立できる形（コミュニティ・ビジネス）を模索しながら運営していくことが求められている。2009年度は農家へのヒアリング調査を行い、現状を把握するとともに、直売や移動販売、橘地区の農作物についてのPR、都市の中の農地の大切さ（防災の視点など）を伝えたい。

・2008年度「エコシティたかつ」推進方針についてイギリス大使館と交流したのだが、イギリスではデフラという省が地球温暖化の適応策を担当しており、農業問題を適応策の中心に据えている。

地図による地域環境資源の共有化の促進

- ・ヒートアイランド調査と地図の関係についてもう少し詳しく説明してほしい。
- ・地べたにそったデータ収集の第一歩として実施。この調査で得た温度以外の地図データ（地形など）も首都大学東京で作成してもらう予定である。
- ・市民参加型調査の実験としてまずやってみることが大事。水災害など土地の記憶については2010年度に調査すれば良い。
- ・高校生の総合学習の一環として参加を呼びかけてみてはどうか。
- ・今回は高津区全域をカバーするのではなくエリアをしばって調査する予定である。初めての調査なので今回は首都大学東京の学生、市民公募委員、事務局の少人数でスタートさせようと思う。
- ・調査時間が夜中（日の出前）の時間帯もあるので、活動の安全性を考えると今回はこの形で良いと思う。今後、モデル地域をつくるなどして、高校生などに参加してもらってはどうか。
- ・だいぶ日程が迫っているので、まちづくり協議会など関心のあるメンバーに声をかけてみたい。
- ・高津の地形は丘陵地、平坦地と両方あり、川崎市のモデルになる。測定ポイントを絞り込むことが重要だと思う。
- ・地図における環境資源や危険箇所の共有化は21世紀必要なこと。田中委員や私もかかわり進めていければ良いと思う。

学校流域プロジェクト

- ・小さな調節池として学校に降った雨を貯め、自然や生き物を支える。それが、教材学習にも使える。
- ・当校（西梶ヶ谷小）でも、ビオトープの活用や、今年は雨水タンクの設置を予定しているので、ネットワークを広げていく推進役になれればと思う。
- ・高津区内に広がっていくような取組に是非進めていってもらいたい。ビオトープは担当

者がいなくなると荒れ果ててしまう。学校だけではなく地域の町内会など参加できれば良いと思うが、なかなか糸口がない。

・より誰もが管理しやすいものにしたい。マニュアルづくりも行いたいと思っている。是非、一緒に学校と連携できるように進めましょう。

・従来は田園風景のようなものを作るのがはやったが、トンボが好きなところは水があるところ。コンクリートで十分。

緑のカーテン事業の展開

・良いパンフレットが出来上がったので、色々な人が参加してくれると思う。2008年度はゴーヤーを育てたが出来すぎて困ったので、今年はフサザキアサガオやリュウキュウスズメウリを育てている。マンションで育てると土や枯れた枝などの処理が大変で、土も毎回買うのはエコなのか疑問を持っている。誰でも育てやすい植物を探し中であり、コンテストで提案できたらおもしろいのではと思っている。そのことで、このプロジェクトが広まる可能性もあると思う。あわせて、花街道でも協力したい。

雨水利用の促進

・タンクはどのような仕様なものか？数は増やせないのか？

・大きめのタンクで地上に置く形で、ある程度の集水面積が必要。企業に協賛という形で提供してもらっているので、3個が限界である。

再生可能エネルギーの利用促進

・太陽光の説明会を開催したいと思っている。担当委員として協力したい。

・自動販売機の屋根に太陽光を設置して、機内の蛍光灯を発電できるようにしてはどうか。大手メーカーに高津区から発信しては。

・企業のビルはどうか？周辺は体感温度が高く感じる。

・企業は大分進んでいると思う。家庭のCO₂が減っていないのが現状。

・ビルのエネルギー診断をしてはどうか。他の自然エネルギーの利用など総合的な研究が必要なのでは。

・最終的にはエネルギーの家庭内循環ができると良いと思っている。

・二ヶ領用水 400年記念のプロジェクトに関わっているのだが、二ヶ領用水で小水力発電ができればと良いと思っている。

「まちなか油田プロジェクト」の推進に向けた調査・研究

・回収ポイントは現在24ポイントであり、着々と増えている。どこで回収しているか分かるとみんな持って来てくれる。西梶ヶ谷小はじめ、横山副委員長、にも回収ポイントになっていただいた。ミットヨとも調整中である。また、油のとれる菜の花（油菜）の栽培を広めたい。今年度から交通局の車にBDF5%の利用を始めた。高津区発信で進めたい。

エコ企業調査プロジェクト

・興味はあるが、ターゲットや調査の内容などまだ決まっていないようなので、出来るところから考えていければと思う。

- ・食をテーマにしてはどうか。

体制づくり

・小島委員や水谷委員にローカルアジェンダとしての進め方について、アドバイスしてもらったら良いと思う。

・蟹ヶ谷地区ではバスが利用できないところもあり、事情を聞いてみたところ、車に頼ってしまうとのことだ。市民から出来る環境政策として、コミュニティバスの試験的な運行など進めていきたいと思っている。

・それぞれのプロジェクトに興味があるが、どのように関わっていくかは考えているところだ。自分が仕事でやっていることを考えると、大山街道の景観づくりなどお手伝いできると思う。

・大山街道にエコカフェを作り、環境に良いもの、石けん、食、ライフスタイル、人についてなど取り扱ってはどうかと画策している。古い建物をどうやって保全していくかご協力いただけたらと思う。

・自動販売機のご提案など、行政は必ずしも民間に強制力があるわけではないので、なかなか難しいところもある。(自動販売機は個人所有が多い。)また、電力の問題では、大きな建物を全面的に太陽エネルギーで動かして行くことは難しく、各々工夫をこらしてやっており、採算性の問題を含め進めていく必要があると思う。個人的には雨水利用を実践したいと思っている。

- ・風が吹いている。モデルとして動かし、発信していく。

8. 会議のまとめ

意見交換を通し、各委員の興味のあるプロジェクトなど把握できたので、具体的な推進については、事務局と連携しながら進めていく。最後に、水谷委員より以下コメントをもらい、まとめとした。

12のプロジェクトは先進的なモデルと、ハードルをさげた顕彰的なものと上手く組み合わせられており、結果的に地に足のついたものになっていくと感じた。「エコシティたかつ」は、2009年度以降は市民の皆さんを中心として進めていこうというものであり、少ない人数では限界があるので、潜在的な担い手として、市民レポーターや楽しいものなどに一般市民の参加を促してはどうか。緑のカーテンコンテストの協賛企業の冠賞など、場を開くしかけをいくつかのプロジェクトで作ると良いと思う。

9. 次回の会議日程など

- ・緑のカーテン審査委員について協議し、水谷委員、横山副委員長、小林委員を選出した。
- ・高津区の関連事業イベントについて

大山街道アクションフォーラム設立準備会 7/12(日) 13:00～

大山街道アクションフォーラム

7/28（火）18:00～

かすみ堤ワークショップ

・次回はプロジェクトの進捗確認など行いたい。日程（10月か11月頃を予定）は追って事務局から連絡する。

以上